

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	えーゆーハウス		
○保護者評価実施期間	R7年9月1日		R7年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0名	(回答者数) 0名
○従業者評価実施期間	R7年9月1日		R7年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年10月14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設内がバリアフリーになっており、重症心身障害児や医療的ケア児の受け入れもを行っている。また、様々な障害種別に対して個別支援計画に沿った支援を保育士・看護師が行っている。	医療的ケア児童も安心して過ごす事ができるように看護師を配置し適切な処置を受けることができます。またTECCHプログラムを取り入れ、構造化された環境で支援を行っています。さらに、個別支援計画の見直し時期には全職員でモニタリングを行っています。	様々な障がい特性に合わせて支援できるようにTECCHプログラムや様々な研修を行うことで質の高い支援を利用児童に合わせて行っています。が個々の療育を行うことで摂食指導や言語療育、運動療育などニーズに合わせて取り組んでいけるようにする。
2	児童の様子を情報共有し合い、成長を共に喜び、困りごとに対しては共に解決できるように共通理解を深めている。また関係機関とも情報共有をしている。	統一した支援ができるように学校や相談員、他事業所とも情報交換を行っている。また職員で情報を共有することで、切れ目のない支援ができるようにしている。	子どもの様子を情報共有できるように定期的に会議を開催することで引き続き安心して利用して頂けるようにする。また子どもを中心に巻き関関係機関と連携して情報を交換し成長をサポートできるようにしていきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の開催や保護者同士の交流する機会が少ない。	夏祭りイベント時に交流できる機会があったが、回数が少ないため日程の調整が難しい。	ご家族様などが参加できるイベントを企画していく。 (例) 夏祭り、クリスマス会、参観自由日など
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	えーゆーハウス					公表日	R7 年 10月 14 日		
					利用児童数	0名		回収数	0名
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。							
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。							
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。							
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。							
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。							
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。							
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。							
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。							
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。							
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。							
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。							
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。							
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。							
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。							
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。							
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。							
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。							
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。							

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。					
	29	事業所の支援に満足していますか。					

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	えーゆーハウス		公表日 R7 年 10月 14日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		個別学習室・リラックスルームを設け、生活介護業務終了後空き部屋を解放しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		定められている配置数に加え、常に5名以上のスタッフを配置、介護福祉士・保育士・言語聴覚士が在籍しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		トイレは車椅子対応スペースを設け階段とともに手すりを設置しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		業務終了後、清掃・消毒の徹底し、業務開始前には再度環境整備を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		ご利用者の体調に応じて個室対応を行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		常に振り返りを行い個々の支援目標に対してどのようにアプローチしていくか意見交換を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎年年度末にアンケートを実施し改善を要する項目については前向きに検討しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎月全スタッフ参加の会議を行い意見交換を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	第三者評価を行っていません。	必要に応じて検討いたします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	オンラインでの職員研修を行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		毎月予定表を作成し配布しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		個別支援計画はスタッフ会議で検討し保護者面談を行い作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		個別支援計画はスタッフ会議で検討し保護者面談を行い作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		スタッフ会議やミーティングで支援計画を共有し支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		行動観察や日々のサービス記録をもとに定期的または必要に応じて保護者様との面談を行い、ニーズや目標に合った支援であるか検証しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		主目的としてご本人やご家族様のニーズに対する支援内容を掲げ、その目標に近づくための支援目標を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		毎朝のミーティング・毎月のスタッフ会議を行い意見交換を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	振り返りを行い意見交換を行っています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	個別課題とグループ活動のプログラムを提供しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎朝ミーティングで一日の流れや無理のない人員配置であるか確認しどのようにアプローチするか確認をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		業務終了後、振り返りを行いスタッフノートで情報共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		個別記録には保護者や学校からの申し送りを含め体調や気になった言動等を詳細に記載しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6か月以内にモニタリングを実施し、それに伴い保護者面談を行い相談の上見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		日常生活の充実・創作活動・余暇の提供を含めた支援を行っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		ご依頼がありましたら連携させていただきます。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		ご依頼がありましたら情報共有させていただきます。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	ご依頼がありましたら情報共有させていただきます。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	2	現在のところ、行っていません。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	現在のところ、そのような活動を行っていません。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳や送迎時に日常のごようすをお伝えしています。必要に応じて電話・Lineを活用しています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	現在のところ、そのような活動を行っていません。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時にご説明をさせていただきます。運営規定については施設内に掲示しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		スタッフ2名体制での保護者面談の場を設け保護者の意向をしっかりと確認し支援計画を作成しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		支援計画を保護者にお渡しする際には、必ず内容をご説明させていただきます。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		ご相談があれば誠意をもって対応しています。常にスタッフ2名体制での面談の場を設けるようにしています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	現在のところ、そのような取り組みは行っていません。	保護者からのご要望があれば今後検討いたします。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		ご相談があれば誠意をもって対応しています。必要に応じて迅速に改善に努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月、通信・予定表を発行しています。日々の活動はブログにて発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		情報共有の必要な場合は必要最小限の範囲で使用しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		絵カードや筆談・メール・Lineを活用しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	現在のところ地域住民との交流は行っていません。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアルを作成し必要なマニュアルは掲示しています。全スタッフに周知できるようにスタッフ会議で再確認することもあります。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		毎年3月・10月に避難訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		契約時、定期的に保護者への聞き取りを行っています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		医師の指示書はないが、契約時や定期的に保護者への聞き取りを行い対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		オンライン研修や突発的な事故に対してのイメージトレーニングを行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		緊急避難カードを作成し緊急避難時に備えています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハット・事故報告書の記入は義務づけられており全スタッフへ回覧し再発防止を心がけています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		オンラインでの職員研修を行っています。また、毎月のスタッフ会議で虐待と思われることがなかったか振り返りを行っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		記録する・ケース検討・保護者に説明・同意書の作成・市に報告、適切な手順で行っています。		